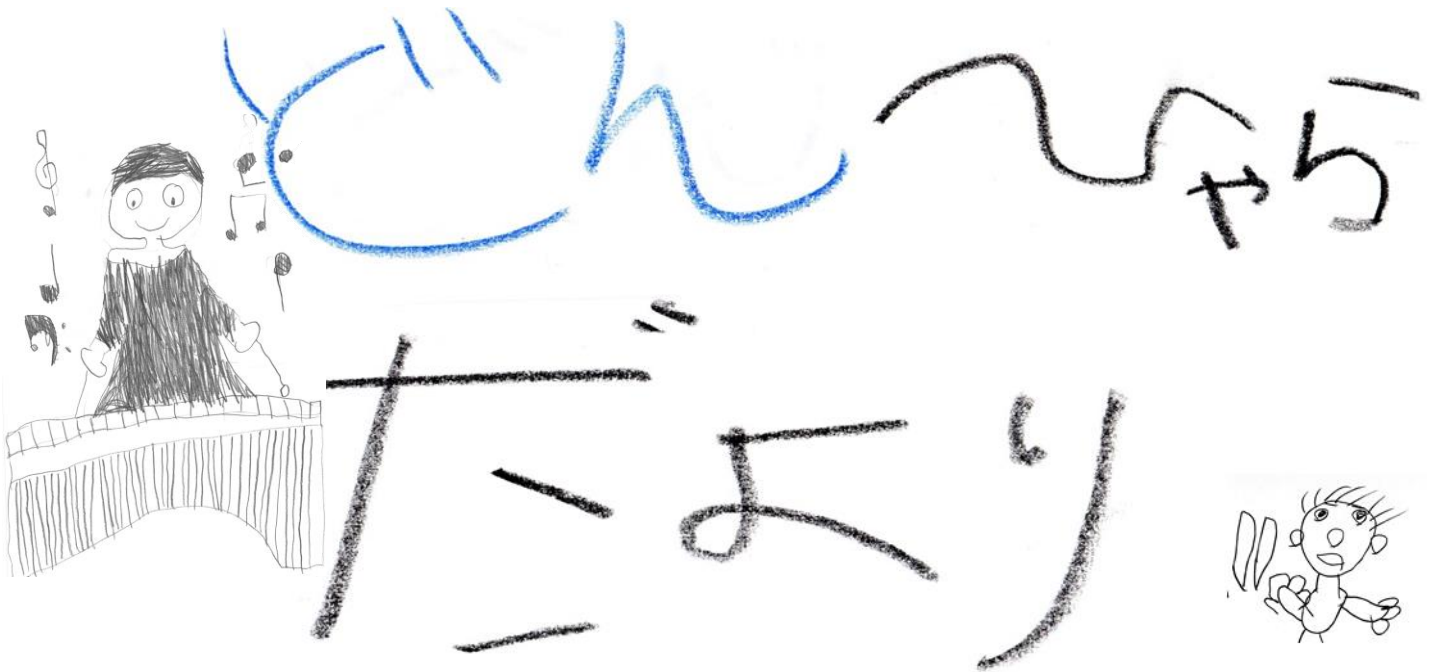




第26号

2025 年度上半期（2025 年 4 月～2025 年 9 月）の活動報告
6 月 7 日（土）13:00～ アゴラ音楽クラブ第 15 回通常総会

2025 年度下半期（2025 年 10 月～2026 年 3 月）の活動予定

10 月 26 日（日）富雄北ふれあい秋祭り アゴラ太鼓出演

11 月 2 日（日）東大寺福祉療育病院 アゴラ太鼓参加

11 月 3 日（祝）大安寺国際縁日 アゴラ太鼓出演

11 月 22 日（土）どんひゃらミニコンサート（アゴラ太鼓・ダンス）@佐紀練習場

12 月 27 日（土）アゴラ音楽クラブ クリスマスコンサート

@やまと郡山城ホール レセプションホール

認定 NPO 法人 アゴラ音楽クラブ

（事務所・教室）〒631-0076 奈良市富雄北 1-12-4 アゴラビル BF

（佐紀練習場）〒630-8003 奈良市佐紀町 2715（旧佐紀幼稚園 2 階）

Tel/Fax: 0742-77-8964

Tel: 090-3941-6892（代表:水野恵理子）

E-mail: eriko.agora@gmail.com

Web page: <https://www.agora-mc.com/>

Facebook: <http://www.facebook.com/agoramusicclub>

【研究経過報告】音楽活動におけるラポール(信頼関係)

水野恵理子

紀元前 5～4世紀のギリシャの医師ヒポクラテースは現代にも通じる医学の基礎を築いた人ですが、彼の医学の心得の中で「病者への愛があるところに癒しの治療がある。病人の中には自分の病気が非常に危険であると察知していても、医師(の愛)に感謝する気持ちを持つことで回復に向かう人たちもいる」と述べています。これは様々な場面で見られることです。つまり医学でも、教育でも、家庭でも、そして音楽療法の場面でも、愛があり、ラポール(信頼関係)さえ築ければ、問題の多くは解決したようなもの。

しかし「ラポールが築けている」とはどういうことなのか。それを何とか定量的に、すなわち数字で表すことは出来ないか、和太鼓のレッスンの中で試みてみました。研究に協力してくださったのは昨年始めたばかりのアゴラ太鼓 C チームの皆さん。とくに小学生の R 君に焦点を合わせました。向き合って声を掛けている時と、他のメンバーに向いている時、好きなキャラクターの名前に合わせて叩いているときとそうでない時、その他様々な条件下での演奏動作を分析して違いを検討しました。

以前は、計測というと実験室で身体にマーカーを貼り付けたり、何台ものカメラを使って、とか参加者にも負担をかけるものが多かったのですが、今は普通にレッスンしているところを家庭用のビデオカメラで撮影したものをパソコンに取り込んで、ソフトを使って解析することができます。

今回は学術理事の池田先生(近畿大学総合理工学研究科)と、学生の槇さん、松西さんにご協力頂いて進めており、5～7月に西宮の音楽療法研究会で研究の過程を紹介しました。これからもいろいろな角度から研究を続けて、よりよい活動のメソッドを作っていければと考えています。

6ヶ月の計測期間中にR君の言いたいこともだんだんわかるようになってきました。同時にR君自身もずいぶんレッスンに集中できるようになり、「ヤー」と掛け声も出て、皆と合わせられるようになってきました。R君を含め、C チームの皆さんの今後の成長が楽しみです。



向かい合ってたたくと集中度が上がる。



後列左から、向出先生、学生の槇さん、松西さん
前列左から、水野、池田先生

～短歌に謳う アゴラの仲間～



水野恵理子先生が 短歌とエッセイをまとめた「幾何学模様」を上梓され、
9月23日には、奈良ファミリーのらくだ広場でジュンク堂主催トークショウ&サイン会を開催。
新アララギ生駒歌会の松森重博先生の歌集「大和うるわし」と共に出版を記念し、それぞれの
歌に込めた熱き思いを語られました。長年 障害児・者の音楽指導に携われる一方、その
様子を短歌で表現していただいているとは…。その多才な活動に頭が下がる思いです。

生涯を通して様々な分野に挑戦し学び続け、その情景を短歌で形に残していくことが、ご自身
のみならず、皆の思い出を紡いでいくことに繋がり、素晴らしいと思います。御著書の中から
短歌のご紹介とアゴラ音楽クラブの皆さんからの読後感想などを、まとめてみました。

○ダウン症の子らと過ごしてふと気づく今日は笑いが絶えなかったと

○自閉症の男子は小さくガッツポーズ見せつつ舞台の袖へ戻り来

○促され手をひかれても動かざりし子は今ひとり太鼓をぞ打つ

○30年前古タイヤ集めては太鼓に見立て並べて打ちき

○ゆっくりとお辞儀し終へてダウン症の少女は誇らしく眼差しを上げ

○車窓より間近に見ゆる公園に昔遊びしブランコのあり

○鉄橋の上より望む保津峡は紅葉濡らして川霧の立つ

○ここまでは山あり谷あり谷ありと母御は笑まふ子の顔を見て

○これ以上皆に迷惑掛けられぬと挨拶する傍に母は笑まひぬ

○指先の鍵盤に触るる瞬間に息を抑へてピアノシモ弾く

～京阪奈情報教育出版「幾何学模様」水野恵理子歌文集より～

令和7年9月23日 ならファミリー1階 らくだ広場 出版記念トークショー&サイン会の様子



対談会場は熱心な
聴講者でいっぱい！



「歌集本出版の楽しさ」語る
松森さんと水野先生



お話の後は
「幾何学模様」サイン会



らくだ広場に
サイン求める行列が・・・。

○ 水野恵理子先生からの一言

歌文集「幾何学模様」の出版記念トーク・サイン会にアゴラのメンバーをはじめ多くの皆さんにお越し頂き本当にありがたく、感謝の気持ちでいっぱいです。

「幾何学模様」の感想文

私たち親子のあゆみの景色も 短歌で繊細に表現していただき、アゴラ太鼓を始めたばかり頃からの思い出が蘇るようで懐かしく、あたためて 今の幸せに感謝の気持ちでいっぱいです。(平井)



何気ない風景、出来事、感情に心の目を向けて素直に短歌の調べに載せて詠んでおられて、スッと心に入ってきました。(西尾)



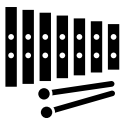
目に映る風景や事象全てが、歌の題材になるんですね。先生の観察眼や感性の鋭さ、人(大人も子供も)に対する優しく温かい眼差しを感じました。歌はもちろんですが、挿絵も素敵でした。(田野)



車窓からの情景の歌を読んで、学生時代を懐かしく思い出しました。スマホ時代と違い、車内からの風景をぼんやり見ていたものです。(中村)



「うたを詠む」ということに縁がなく過ごしておりました私です。パーと半ばを開いたページの短歌から情景が広がり、次々と四季を感じながら旅ができました。考え、感じる楽しさを味わわせていただきました。もう1度 拝読させていただきます。(横山)



豊富な表現、難しい言葉はスマホ片手に検索して・・・楽しく読ませて頂いております。

日常生活からの短歌には、共感するところもあり親しみを感じます。お母様を詠まれた短歌には、この夏に亡くなった自分の母の思い出が重なり合い、胸が熱くなりました。

素敵な歌文集をありがとうございました。(伊藤)



< 新任 理事(広報担当)より御挨拶 >

令和7年度より、広報を担当させていただきます平井万里子(昭和プロ:加藤万里子)です。ダウン症候群(21トリソミー型)のあるひとり息子の母でございます。龍之介(25歳)が中学生の時、あやめ池神社子ども太鼓連を卒業後、まず、アゴラ太鼓の見学からスタート。途中、中学3年頃から思春期退行症状のため暫くお休みを挟んで復活。アゴラ太鼓 B チームで水野先生の御指導を賜り、高等部より大井先生に個別で音楽療法をしていただいております。

母親の私は、息子が2歳の時、保健所の御指導の下、地域のダウン症のある子を持つ親の会(バンビーナ21)を仲間と共に設立、小学生の時、大阪で JDS 日本ダウン症協会の全国大会の開催を機に、奈良市を中心に全国の仲間と繋がる JDS 奈良北支部(バンビーナの会)の代表をボランティアで務めております。お蔭様で、現在は乳幼児から成人まで約90名のダウン症のある親・家族と、医療・療育・福祉関係の専門家の皆様が集う会となりました。肝心の我が息子には自閉症の合併があることを、遅まきながら、思春期の躰を経験して気がつきました。子育ては自慢できることは全くなく恥ずかしい限りなのですが、不肖、奈良市委託知的障害相談員、JDS 委嘱相談員を拝命し、生涯を通して生き辛さを持つ人たちに少しでもお役に立ちたいと願っています。アゴラ音楽クラブの皆さんには、最重度の息子ともどもお世話になってばかりで、何もお返しできていませんでしたので、今年度は広報で、微力ではございますが、頑張りたいと思います。皆様の御指導、ご協力を賜りますよう、どうぞ、よろしくお願い申し上げます。 平井万里子 拝

—編集後記—

2期に渡り4年間、広報を担当して下さった横山前理事から平井理事に引き継がれ、今年度活動がスタートしました。今号では、水野先生の歌文集の特集が掲載されておりますが、私は先生のご本を手にした瞬間から夢中になり、気がつけば時間を忘れて、最後まで姿勢も崩さず、一気に拝読させていただいておりました。一句一句、折々の場面に於いて、その時々的情景や想いが目に浮かび、引き込まれていきました。5, 7, 5, 7, 7, の31音で紡ぐ短詩に込められた想いに共感しながら、心豊かにさせていただきました。

さて、メンバーは、これから今年度後半期に催される「どんひゃらミニコンサート」や「クリスマスコンサート」など発表の場に向けて、日々練習に励んでおります。いつも温かいエールを送ってくださっている皆様には感謝の気持ちで一杯です。

引き続きご支援ご協力の程、よろしく お願い致します。

(記:大井)

編集:アゴラ音楽クラブ広報 大井裕子 平井万里子